

第11回医療ICTシンポジウム（SMICT2017-II）開催模様（速報）

平成29年12月22日（金）に横浜情報文化センター 情文ホールにおいて、第11回医療ICTシンポジウム（SMICT2017-II）- 新たな医療・ヘルスケア情報プラットフォーム形成めざして：地域・産学官の連携で医療・ヘルスケアデータの利活用基盤の確立へ - (<http://www.mict.ynu.ac.jp/smict2017-2.htm>) を開催しました。

シンポジウムは、横浜国立大学の長谷部学長の主催者挨拶にはじまり、午前中は情報通信研究機構の徳田理事長はじめ3名の基調講演（うち、フィンランドビジネスオウル執行役員 Ala-Mursla氏はビデオ録画による講演）、午後は横浜国立大学未来情報通信医療社会基盤センターの河野センター長の総括講演、IBM 溝上氏ら3名の個別講演、そしてこれら講演者に各方面からのパネリスト3名を加えて河野先生の司会進行によるパネル討論を行いました。これらの講演とパネル討論では、とりわけ医療情報に関する新しい技術（IoT やビッグデータ、ネットワーク診断、など）の動向やこれらに関する実用化・産業化、関係する法制度との関係などに深く切り込んだ議論・意見交換が行われ密度の高いシンポジウムとなりました。



会場には、産業界や公的機関、学生など約175名が参加し、各講演やパネル討論における質疑等で盛況となりました。なお、Ala-Mursla氏のビデオ録画による基調講演において、フィンランドオウル大学のLeppanen名誉教授が一部の発表を行いました。その際、これに先立ってフィンランドオウル市と神奈川県との連携の推進におけるLeppanen名誉教授の長年にわたる功績に対して神奈川県からの感謝状が神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室の金井信高室長から手渡されました。

以下、当日のプログラムと速報写真。

日時：2017年12月22日（金）10:00～17:30 参加無料

会場：横浜情報文化センター 情文ホール

主催：横浜国立大学（未来情報通信医療社会基盤センター、先端科学高等研究院）

共催：神奈川県（かながわ医療機器レギュラトリーサイエンスセンター）

協賛：オウル大学、電子情報通信学会ヘルスケア・医療情報通信技術研究専門委員会

後援：総務省、横浜市、横浜市立大学、情報通信研究機構（NICT）

午前の部 10:00-12:15

開会 長谷部 勇一 横浜国立大学 学長

挨拶 金井 信高

神奈川県政策局 ヘルスケア・
ニューフロンティア
推進本部室 室長



総合司会
塩見客員教授

基調講演

座長： 杉本 千佳 横浜国立大学
未来情報通信医療社会基盤センター 准教授



徳田 英幸 情報通信研究機構 理事長、 慶應義塾大学 客員教授

「IoT の進化と医療 ICT のセキュリティ」

井上 登美夫 横浜市立大学 大学院医学研究科 放射線医学 教授

「医療分野における ICT 利用に関する最近の動向」

Juha Ala-Mursula フィンランド オウル市 ビジネスオウル 執行役員

“Health ICT Innovation and International Collaboration”



徳田理事長



井上教授



Ala-Mursula 氏 ビデオ講演

河野先生と Leppanen 名誉教授によるビデオ
講演支援



Leppanen 先生へ
神奈川県金井室長から感謝状

午後の部 13:30-17:25 (途中休憩)

総括講演 河野 隆二 横浜国立大学
未来情報通信医療社会基盤センター センター長
大学院工学研究院 教授
フィンランド・オウル大学 Distinguished Professor

「IoT・データサイエンスによる先端医療 ICT プラットフォーム・
ネットワーク医療の研究開発・薬機法承認・ビジネス

- センターの実績と未来 -」



講演とパネル討論

- ICT 機器 (ネットワーク診療、医療ソフトウェア) の研究開発から
薬機法承認、標準化、そしてビジネス展開の推進を目指してー
コーディネータ：杉本 千佳 横浜国立大学

未来情報通信医療社会基盤センター 准教授

森 由美 横浜国立大学

未来情報通信医療社会基盤センター 准教授



森先生

パネル討論 司会：河野 隆二 横浜国立大学 未来情報通信医療社会基盤センター センター長
講演：

溝上 敏文 日本アイ・ビー・エム株式会社
インダストリー・ソリューション&ビジネス開発
Watson 医療ソリューション 部長
「IBM Watson Health と医療の世界」



井上 祥 メディカルノート 代表取締役 / 医師
「医療情報メディア「メディカルノート」立ち上げの経験から」



濱上 知樹 横浜国立大学 工学研究院 教授、
未来情報通信医療社会基盤センター
副センター長
「人工知能による医療支援研究～ 知的医療
サービスの社会実装にむけて」



パネリスト：（上記の講演者に加えて）

川村 眞知子 富士通株式会社 神奈川支社 エリア戦略推進部
村田 知之 神奈川リハビリテーション病院 研究部（KRRC）
萩原 浩明 横浜南共済病院 放射線科部長、
横浜市立大学 客員講師、横浜国立大学 非常勤講師



閉会の挨拶 17:25

横浜国立大学理事・副学長 森下 信



受付